

いしのまき圏域 SDGsシンポジウム × SDGsパートナーセミナー



Sustainable (サステナブル:持続可能な)
Development (ディベロップメント:開発)
Goals (ゴールズ:目標)

SDGs(持続可能な開発目標)は、地球上に住む全ての人が暮らしやすい社会を将来に引き継いでいくための世界共通の17の目標です。

1月29日、マルホンまきあーとテラスにて「いしのまき圏域SDGsシンポジウム」および、「いしのまき圏域SDGsパートナーセミナー」を開催しました。問 SDGs移住定住推進課(内線4225)



SDGsシンポジウム基調講演



石巻リサイクリエーション活動の発表



大谷地小学校の発表



食用藻アイスクリーム販売会



SDGsパートナーセミナー

第1部「SDGsシンポジウム」 株式会社オープンハウス代表取締役の益田文和氏による基調講演、花王株式会社などによる石巻での「リサイクリエーション活動」の成果発表および大谷地小学校のSDGsに関する取組発表を行いました。終了後には大谷地小学校が風月堂と協力して開発した食用藻アイスクリームの販売会も行いました。収益は被災地支援・国際支援に役立てられます。

第2部「SDGsパートナーセミナー」 いしのまき圏域SDGsパートナー企業・団体などを対象に実施しました。一般社団法人サステナブルコミュニティ共創機構の横山泰治氏より、自ら主催している「八女市・石巻圏交流事業」について講演があり、パートナー企業・団体がSDGs達成のために何ができるのか、また何をすべきなのか、その足がかりになる講義を行いました。



～包括連携協定の締結状況をお知らせします～

市では、地域の活性化や課題解決を図ることを目的に、民間企業・大学などの団体と包括連携協定を締結し、さまざまな取り組みを行っています。

令和8年2月末時点で、協定を締結している団体は31団体となりました。

株式会社エイジエックグループ(令和7年3月26日締結)

《連携項目》

- (1) スポーツ振興のこと
- (2) 市民の健康増進のこと
- (3) その他地域活性化のこと



市では、包括連携協定による官民連携を推進し、地域課題の解決に取り組んでいきます。締結状況の詳細は、市ホームページを確認ください。

問 政策企画課(内線4215)



文化財(たんぼう)

(132)

文化財保護法のはじまり
～文化財を守り・役立てていくために～

「法律はどうも…」と思う方も
いると思いますが…。
昭和24年1月26日、我が国に現



文化財防火デーの様子

存する最古の木造建築である法隆寺
(奈良県)の金堂で火災が発生し、
壁画が大きな被害を受けました。
同年2月には、松前城(北海道)
や松山城(愛媛県)でも火災が発生
し、被害を受けています。

貴重な建物が立て続けに火災の
被害にあつたことにより、日本は海
外から大きな批判を受けることに
なりました。そして、翌年の昭和25
年、「先人が残した貴重な文化財を
守ろう。」という世論が高まり、「文
化財保護法」が制定されたのです。
それまでも「史跡・名勝・天然
記念物保存法」などの、特定の種類
の文化財を守るための法律はあり

法律は、文化財を保存し、且つ、その
活用を図り、もつて国民の文化的向
上に資するとともに、世界文化の進
歩に貢献することを目的とする。」
とあります。文化財を含めた我が国
の文化が、世界の人々の人生にまで
影響を与えるようになりました。
石巻の文化財も世界の人々に影
響を与えていたかもしれません。

ましたが、海外の先進的な要素を取り
入れ、文化財の保存と活用を図ること
を目的とした文化財保護法が
制定されたことにより、これらの法律は廃止されることになりました。
また、文化庁は昭和30年から1
月26日を「文化財防火デー」として
定め、文化財を火災から守る取り
組みを継続的に実施し、今年で第72
回目となります。